

定点把握感染症の流行について

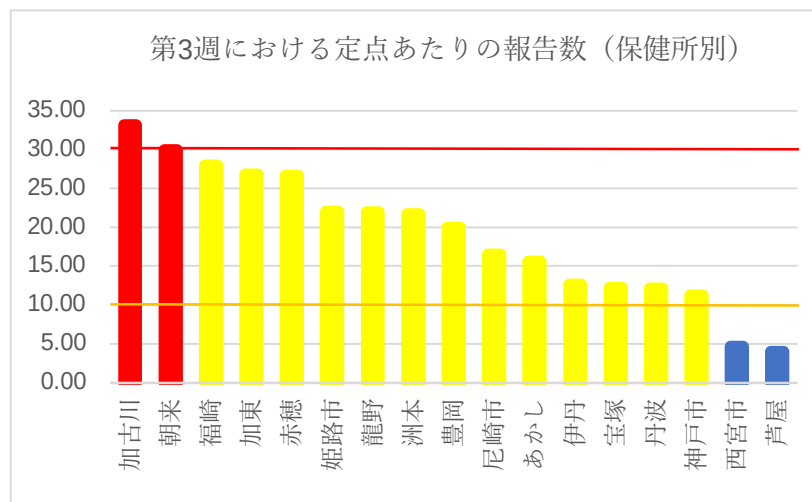
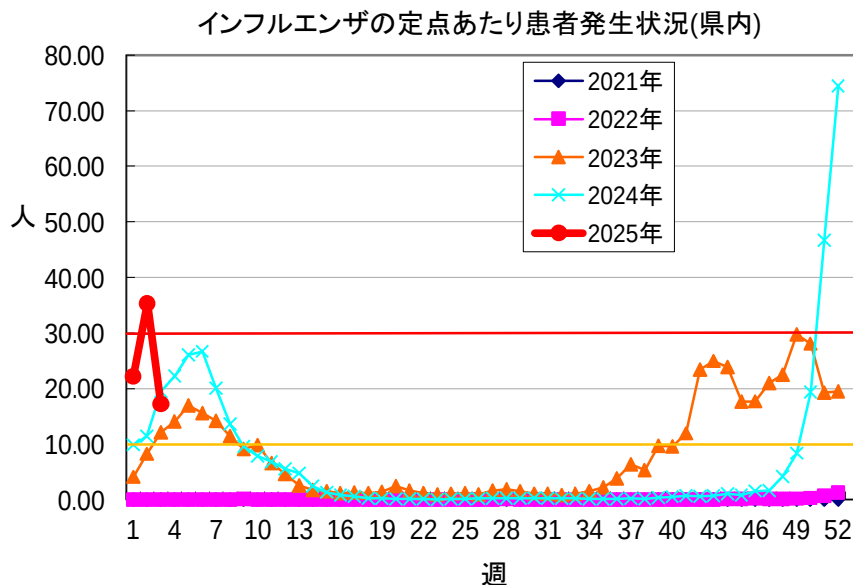
1 インフルエンザ

新型コロナウイルス感染症の流行以降、インフルエンザの患者は過去にない低水準となっていた。直近2シーズンは流行入り及び注意報レベルの水準まで達した。今シーズンは2024年第51週に警報レベルに達した。

定点あたり患者報告数は、2024年第52週（12月23日～12月29日）に74.40人（第51週は46.65人）となり、過去10年間で最大の報告数となった。

2025年第3週（1月13日～1月19日）には17.25人となり減少したが、県内17保健所管内中、尼崎市、姫路市、明石市、伊丹、宝塚、加古川、加東、龍野、赤穂、福崎、豊岡、朝来及び洲本保健所管内が依然として警報レベル地域（開始基準値30.0人、終息基準値10.0人）、神戸市及び丹波保健所管内が注意報レベル地域（基準値10.0人）となっている。

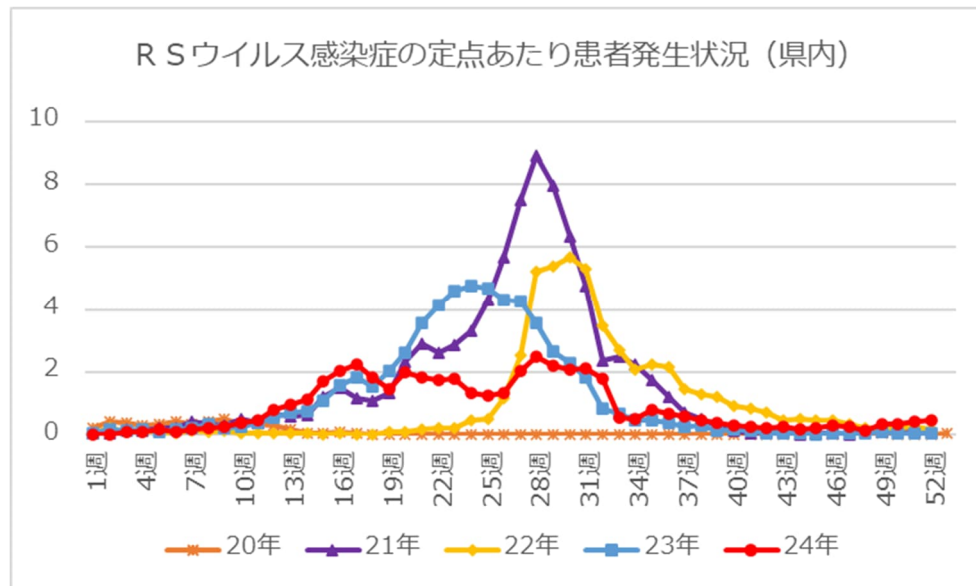
なお、5週間に県内の定点医療機関から報告された患者38,074人の年齢分布では、5～9歳が25%、0～4歳が19%で、15歳未満が全体の61%を占めている。



2 RS ウイルス感染症

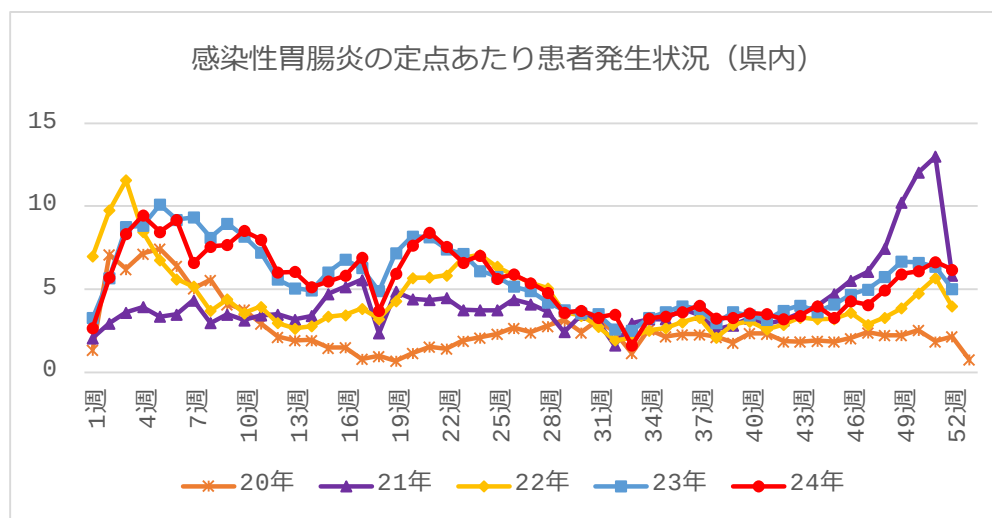
令和 6 年は令和 4、5 年に続き、例年より早い流行となり、2023 年第 17 週（4 月 22 日～4 月 28 日）に定点あたり 2.26 人、第 28 週（7 月 8 日～7 月 14 日）にはピークとなる 2.47 人となった。

なお、全患者報告数 5,852 人のうち、1 歳未満が 1,571 人、1 歳が 1,949 人、2 歳が 1,191 人、3 歳が 624 人となり、3 歳以下が全体の約 91%を占めた。



3 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、週報 2024 年第 4 週（1 月 22 日～1 月 28 日）に定点あたり 9.46 人と最多となった。それ以降は、定点あたりで第 21 週（5 月 20 日～5 月 26 日）に 8.41 となったのが次点であった。



＜令和 6 年度 施設・学校における感染性胃腸炎の集団発生状況＞

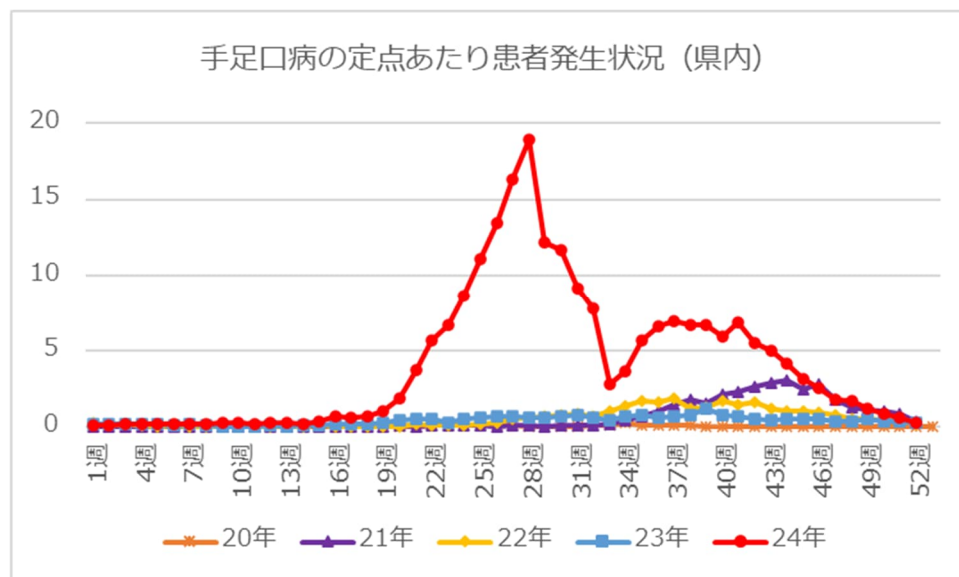
保健所	施設種類	発生件数
芦屋	保育所・幼稚園・認定こども園	3
伊丹	保育所・幼稚園・認定こども園	5
	学校	1
宝塚	保育所・幼稚園・認定こども園	3
加古川	高齢者等社会福祉施設	1
加東	保育所・幼稚園・認定こども園	1
豊岡	保育所・幼稚園・認定こども園	2
	高齢者等社会福祉施設	1
朝来	保育所・幼稚園・認定こども園	1
	学校	1
丹波	高齢者等社会福祉施設	1
合 計		20

※2024 年第 14 週（4 月 1 日～4 月 7 日）～2025 年第 4 週（1 月 20 日～1 月 26 日）の集計

※保健所設置市（神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市、明石市）は除く

4 手足口病

手足口病は、週報 2024 年第 28 週（7 月 8 日～7 月 14 日）に定点あたり 18.95 人と最多となった。過去 10 年間の累計患者報告数が最も多くなり注意喚起を発出した。



5 マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、週報 2024 年第 43 週（10 月 21 日～10 月 27 日）に定点あたり 3.57 人と最多となった。過去 10 年間の累計患者報告数が最も多くなり注意喚起を発出した。その後一旦減少したが、週報 2024 年第 3 週に（1 月 13 日～1 月 19 日）に定点あたり 3.50 人と再び増加した。

